



2016年 新時代に向かって

藤が丘病院 病院長 眞田 裕

申年が明けました。この年末年始に長年の夢であった電子カルテシステムの導入にご尽力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

2004年6月の「院内報」巻頭言に血液内科森教授が「2009年6月19日 藤が丘」と題して5年後の病院の夢を見たことが紹介されています。夢



の中で、森先生は「4月に導入された新しい電子カルテシステムを後輩医師から誇らげに案内され、しかし、慣れないシステムを使った診療に時間がかかって患者さんを随分お待たせしている」ことを語られています。森先生はじめ私たち職員の十余年の夢が現実になりましたが、正月明けの診療にも夢の中の出来事と同じような苦労が院内アチコチでみられ、患者さんには多々ご迷惑をおかけしていますことをお詫び申し上げます。また、新システムの導入には必ず旧システムのスクラップがついて回りますが、紙カルテシステムを早く終了し、そのスペースを遅滞なく診療・教育のために有効利用しなくてはなりません。職員の皆様には今一步の努力を引き続きお願いする次第です。

以前の巻頭言からもう一遍紹介いたします。「院内報 221号 (1999年2月)」に「藤が丘病院の将来」と題して前形成外科角谷教授は、「立派な建物を持つ大手銀行や証券会社が倒産する現状を捉え、組織の活力は器の立派さではなく、働く人たちの責任感や部門責任者のリーダーシップにあり、病院の職員は仕事や学問に卓越すると同時に幅広い視野を持つことである」と力説されています。私はこの説に100%賛同いたします。

この8年間、病院長のリーダーシップは2級品以下でしたが、職員の皆様のが力が結集されて藤が丘病院は発展してきました。4月からは高橋寛新病院長のもとに皆様は今以上に一致団結され、一人一人がより一層視野を広げて病院を牽引し、日本一の病院を目指していただきたいと期待しています。

申年にむけて

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 病院長 三邊 武幸

今年は申年です。申年生まれの人には、「意志が強く個性的、頭が賢くなんでも器用にこなし、好奇心旺盛で素早く行動する行動的な面もあり何をしていても凄く早くものにする」、「明るく人懐っこいので人気者になりやすく、どんな場面でも臆することなく挑戦するので適応能力は高い」などといわれます。



しかし、これは社会やコミュニティと融合できた場合で、自分が置かれている状況がその才能とマッチしないと、うまく波に乗り切れないで才能が潰されてしまうこともあるようです。

ちなみに申年生まれの有名人は…豊臣秀吉(武将)、石田三成(武将)、小椋佳(シンガーソングライター)、桑田佳祐(シンガーソングライター)、竹中直人(俳優)、長渕剛(シンガーソングライター)、つんく(総合エンターテインメントプロデューサー)、又吉直樹(お笑い芸人)などで、芸術性の高い作品や楽曲などを生み出したり、新しい発明をしたりと、その時代時代で光り輝いて、みんなを引きつける人物が多いようです。

今年1年、申年の病院スタッフに期待して乗り切りましょう。

第17回藤が丘地域医療連携フォーラム講演要旨

脊柱変形に対する最新の治療

藤が丘病院整形外科 准教授 神崎 浩二

近年の高齢化社会に伴い、腰椎の老化現象を基盤とする脊柱の後弯変形や側弯変形(いわゆる腰痛がり)の治療に携わる機会が増えています。これには、学童期からの特発性側弯を基盤に変性が加わり大きく変形が進行したものと、純粋に老化現象(椎間板の変性や骨粗鬆症に伴う圧迫骨折、脊柱起立筋の機能破綻等)を基盤として脊柱変形が進行するものに

チェロリサイタルのお知らせ

藤が丘病院では、国際的に活躍されているチェロリスト、ヴラダン・コチ氏をお招きして無伴奏チェロリサイタルを開催いたします。



- ◇開催日時 : 平成28年4月9日(土) 14時開演
- ◇開催場所 : 昭和大学藤が丘病院1階初診受付前ロビー
- ◇プログラム : G.P.テレマン 無伴奏ヴィオラ・ダ・ガンバのための組曲ニ長調
- : G.F.ヘンデル 私を泣かせてください オペラ リナルドのマリア
- : M.レーガー 無伴奏チェロ組曲第3番
- : G.カサド プレリュード ファンタジア
- 日本の唄 (演奏曲目は変更する場合があります) ボランティア委員会



大別されます。学童期から側弯症等のあるものでは、ある程度進行を予測し器具療法を行う、矯正手術を受けて中高齢期を迎えるように配慮する等の考え方が重要となります。変性に伴うものに対しては、体幹筋力強化や腰への負担を減らす、体重のコントロール等の努力が大事ですし、高度な変形に至り歩

行障害や GERD などの内臓への影響が出てくるようなら積極的に矯正手術に踏み切ることも重要です。現在は高齢であっても脊椎の骨きり手術等の技術も進歩しており積極的に取り組まれています。

電子カルテ運用開始

1月1日より藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院同時に電子カルテが導入されました。

昭和大学江東豊洲病院で使用している電子カルテシステムをベースとしつつ、藤が丘病院・リハビリテーション病院の2病院で共有できるように、また、患者サービス・医療の質・安全管理の向上が実現できるように改変を加えました。

電子カルテ導入によって、病院内の端末どこでも、複数の場所からカルテを開くことができ、必要なときにいつでも診療内容を確認することができます。従来のような診療内容を確認するために紙カルテを取寄せる時間を省けるようになりました。また、複数の診療科を受診している患者さんの全ての診療内容を見ることができ、医療スタッフ間での情報共有が容易になります。

さらに安全管理の面においても、注射や輸血などの投与する薬剤・血液と患者さんをバーコードで確認し、ミスが起きないように事前チェックする運用が始まりました。

電子カルテの導入に際して、病院機能を止めることなく入院・外来とも継続診療しながら患者さんの診療データを電子カルテに引き継ぎ、運用を開始しました。まだまだ医療スタッフが不慣れでシステムも十分に整備されていないため、患者さんにご不便をおかけすることが多々あるかと思いますが、継続して改善に取り組んでまいります。



(藤が丘病院医事第一課 小川孝行 芥川 浩)

リハビリテーション病院にスポーツ歯科外来が開設されました

藤が丘病院スポーツ歯科 准教授 船登 雅彦

スポーツ歯科外来が平成28年1月に、藤が丘リハビリテーション病院スポーツ健康外来の専門外来として開設されました。日本代表候補選手には内科系、整形外科系および歯科系のメディカルチェックを受けることが義務付けられていることから、スポーツ歯科外来が開設される運びとなりました。スポーツ歯科と

しては平成26年10月にプロ野球選手のメディカルチェックに参加しましたが、平成27年4月にスポーツ運動科学研究所が設置されたことにより、大東建託(株)の「チーム大東」アスリート支援や日本体育大学ラグビー部のメディカルサポートへの参画が決まりました。

スポーツ歯科の目的は、国民の健康づくりのために行うスポーツを支援すること、スポーツ選手のパフォーマンスの維持・向上、およびスポーツ口腔外傷を予防することです。平成32年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、ますますスポーツ歯科の需要が増加していくことが十分に予測できます。診療内容としては、スポーツ競技者のスポーツデンタルチェック、競技特性に応じたスポーツマウスガードの提供、および専門家による機械的歯面清掃を行います(全て自費診療、予約制)。昭和大学関係者の方々、近隣の医療機関の先生方、および患者さんにおかれましては、スポーツ競技者ならびに愛好家の方々をご紹介いただければと存じます。



スポーツ歯科外来担当者

院内部署紹介

価値ある診断画像を目指して!

リハビリテーション病院放射線室

西澤 剛

当院の放射線室は常勤者2名で業務を行っています。主な業務は単純X線撮影を中心に、CT検査、透視検査(嚥下機能検査等)、骨塩定量検査(前腕部)、病棟X線ポータブル撮影などです。昨年9月には、単純X線撮影の受像システムが藤が丘病院と同様にFPD(フラットパネル)になりました。そのメリットは、画像の表示速度が高速(30秒→2秒程度)になったことと、従来と比較して半分程度のX線量で高画質画像が得られるようになったことです。これらのことにより、業務効率の向上、被ばくの低減ができるようになりました。また以前は撮影枚数が多い時、何枚もカセット(フィルム)を準備しなければなりませんが、新システムでは1枚で複数の撮影が可能となりました。今後はこれらの機器を活用し、診断に有用な画像を提供するとともに、待ち時間の減少、被ばくの低減など、患者サービスの向上に努めていきたいと考えています。



院内部署紹介

7階東病棟について

藤が丘病院 7階東病棟 看護師長 高橋 美奈

7階東病棟は現在循環器センター、脳神経外科・脳神経内科含む 40 床の内科・外科の混合病棟です。看護師は若いスタッフが多い中、ベテランを含めサポートあいながら31名が勤務しています。病棟としては日々忙しい印象を受けますが、電子カルテ導入に戸惑いながらもスタッフ同士助け合いながら、患者さんの安全を第一に考え勤務に取り組んでいます。特に循環器内科の慢性疾患を抱える患者さんが多く、入退院を繰り返してしまうこともあるため、退院後の支援の見直しや・早期退院支援・調整の介入を考え、医師や看護師・他職種との連携を図っています。また、リハビリ病院への転院も増え、継続的な看護・治療ができるよう話し合い、両院共通の患者パンフレットを作成するなど連携の強化を図っています。今後も患者さんを中心に考え、少しでも安心して退院が迎えられるサポートができる看護を提供していければと思います。



スポーツ運動科学研究所 第1回学術研究発表会が開催されました

スポーツ運動科学研究所 准教授 磯 良崇

昨年12月26日(土)、昭和大学病院臨床講堂において、スポーツ運動科学研究所による第1回学術研究発表会を開催いたしました。スポーツ医科学・健康科学に関する多分野からの8演題と日本体育大学 船渡和男教授の特別講演を行いました。藤が丘病院/リハ病院からも多数の参加があり、本学4学部8病院関係者に加え日本体育大学や外部企業の方も参集され、総数130人の大変盛況な会となりました。また、本学小口勝司理事長・小出良平学長ならびに日本体育大学 松浪健四郎理事長・谷釜了正学長にも参加頂き、会に先立ちご挨拶をいただきました。参加された方々には、この誌面を借りて、篤く御礼申し上げます。研究所活動を更に活性化し、より興味を持っていただけるような研究会にして行く予定ですので、今後も皆様のご協力・ご支援の程どうぞ宜しくお願いいたします。



挨拶をする日本体育大学 松浪健四郎理事長

クリスマスコンサート開催される

昨年12月18日(金)の午後5時より、藤が丘病院では平成22年以來5年ぶりとなるクリスマスコンサートが1階初診受付前ロビーにて開催され、入院患者さんや外来患者さん、見舞いの方など延べ80名を超える方々が参加されました。当日演奏していただいたのは青葉区を中心に活動されているアマチュアのマンドリンアンサンブル「マンドリーノ・フェリーチェ」の方々総勢22名です。「チキチキバンバン」、「ジングルベル」、「ひょっこりひょうたん島」など8曲を披露していただき、マンドリンの美しく優しい音色が藤が丘病院に響き渡りました。アンコールでは「ふるさと」が演奏され、参加された方が大きく口を開けて一緒に歌う姿が印象的でした。



(藤が丘病院管理第一課 高橋良治)

ブラック・ジャックセミナー開催される

1月23日(土)午後、藤が丘病院にて将来の医療従事者育成を目的とする体験型のセミナー、「第3回 藤が丘ブラック・ジャックセミナー(ジョンソン・エンドジョンソン共催、横浜市教育委員会後援)」が開催されました。今回は、横浜市青葉区周辺の小学校5年生・6年生41名と、スタッフとして医師・看護師・事務職員の42名が参加しました。当日は、軟性内視鏡体験、自動縫合器・吻合器、超音波メス、心肺蘇生など、実際に医師の仕事を経験することができる7ブースが用意され、小さなブラックジャック達は担当医師の指導のもと、目を輝かせながら、真剣に取り組んでいました。セミナー終了後は、コースディレクターを務めた消化器・一般外科の田中教授より修了証と記念品が一人一人に手渡されました。



(藤が丘病院管理第一課 山口詩織)

人権啓発講習会開催される

2月2日(火)と19日(金)に、藤が丘病院B棟6階講堂にて、一般職員を対象とした人権啓発講習会が開催され、両日合わせて223名が出席しました。人事部人権啓発推進課の山口淳課長が講師を務め、「様々なハラスメント課題を考える」というテーマで、セクハラ・LGBT(性的マイノリティ)・マタハラ・パワハラなど、だれもが当事者になりうる身近なピックスについて講演されました。こうした講習会を通じて職員一人一人の人権に対する意識を向上させ、働きやすい環境を整備することで、より質の高い医療が提供できるよう邁進してまいります。



(管理第一課 横山 実佳)

ナチュラルローソン リニューアルオープン

2月8日(月)、藤が丘病院1階のローソン(平成12年11月開店)がナチュラルローソンとしてリニューアルオープンしました。ナチュラルローソンは、「美しく健康で快適な」ライフスタイルを身近でサポートするお店で、「品質」、「信頼感」、「誠実さ」といった基本的要素に加えて、「優しさ」、「温かさ」も大切にしています。特に商品を採用するに当たっては次のことにこだわって、質の高い商品とサービスを提供するよう心がけているそうです。

1. すべての商品で合成保存料不使用を徹底
2. 日配食品について国産原材料を使用した商品を優先
3. 地球環境に配慮した商品を優先的に採用



リニューアル前



リニューアル後

みんなのアルバム



京の黄昏

学会で京都に行った際、ふと外を見ると綺麗な黄昏でした。疲れた身体が癒されました。 岩井譜憲(藤が丘病院放射線室)

みんなのアルバム掲載写真募集

みんなのアルバムに掲載する写真を随時募集しております。皆さんからのご応募をお待ちしております。

- テーマはフリーとします。ただし、被写体に人物が入っている場合は、写っている方から投稿についての承諾を得てください。
- 応募方法は写真データとお名前(イニシャル・ハンドルネーム可)、コメント(100字以内)を下記編集委員会までお送りください。なお、紙媒体でのご応募はお断りします。
- 写真は必要に応じて編集させていただく場合があります。

広報委員会 f-press@ofc.showa-u.ac.jp

診療統計 2015年12月・2016年1月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2015年12月	2016年1月	2015年12月	2016年1月
外来患者数	28,278人 (1,229.4人)	24,610人 (1,070.0人)	4,498人 (195.6人)	3,512人 (152.7人)
入院患者数	16,159人 (521.3人)	15,123人 (487.8人)	5,187人 (167.3人)	4,301人 (138.7人)
紹介率	89.9%	86.6%	56.3%	50.2%
逆紹介率	72.7%	51.5%	83.1%	93.3%

《編集委員》

高橋 寛	佐々木 春明	小岩 文彦	池田 裕一	磯 良崇	芳賀 ひろみ
辻本 さなえ	吉原 利栄	出川 美幸	大塚 幸彦	小宅 育代	岩井 譜憲
飯田八代枝	松尾 悠	高橋 良治	(順不同)		